

コード	502010201
記入日	H25.5.31

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	平山 好子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	移動図書館車活用事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50201	基本事業名称	生涯学習機会の拡大	目コード	3
事務事業コード	5020102	事務事業名称	中央図書館管理費	細目コード	102
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町図書館条例施行規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1)	22,254人口(H24.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・中央図書館から「くりぐら号」、「奈良尾図書館から「やまびこ2号」で、図書館への来館が困難な人達への利用促進によって、読者の普及を図るため町内各地区、各施設等への巡回を実施する。 →移動図書館車 2台 →年間巡回回数 129日 →年間貸出冊数 21,769冊	***** 巡回回数	***** 129日	***** 97.7%	巡回回数÷ 計画巡回回数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	学校の都合で3回中止になったのみで、そのほかは計画どおり実施できた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・住民がいつでも、どこでも、誰でも読書を楽しめる環境の充実を図る。生涯学習の学ぶ権利や文化的生活を保証する。	***** 貸出冊数	***** 21,769冊	***** 87.4%	貸出冊数÷ 計画貸出冊数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	計画より貸出冊数は減少したが、巡回車2台となり巡回訪問の効率化を図ったことで、前年度より1台あたりの年間貸出冊数は上回ることができた。※(参考) 23年度 8,303冊 24年度 10,884冊			
		② (達成率分析)	***** 移動図書館車利用者数 3,799人 85.6% 利用者数÷ 計画利用者数 平成24年度 町全体の人口が顕著に減少しているとともに、巡回回数減による影響が利用者数に表れた。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	1,066	1,063	934	132	129				
	②									
成果指標	① 冊	194,495	191,355	169,586	24,909	21,769				
	② 人	36,383	35,748	31,949	4,434	3,799				
総事業費 C (A+B)	千円	15,850	15,797	14,530	1,320	1,267				
直接事業費 A	千円	10,250	10,197	9,630	620	567				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	15,850	15,797	14,530	1,320	1,267				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	図書館の整備環境を考慮すると、利用者の利便性の確保や、地域間の格差是正のためには必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	住民(利用者) がいつでも、どこでも、だれでも本を借りられる環境である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	巡回の日数を増やしたり、個人への貸出冊数を増やすことによって、貸出冊数については向上する余地はある。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	利便性の悪い地区がある以上、貸出冊数・利用者の減があっても、活動結果は得られているものとする。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	これ以上の経費の減とするならば、利便性の悪い地区住民が切り捨てられることになる。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	今後も2台の移動図書館車の巡回訪問の効率を図るとともに、夏休みの試行案として貸出冊数を増やすため、子どもがいる地域の巡回訪問を計画している。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	移動図書館車が1台減になったため、巡回訪問地区及び業務の効率化を図り運営されている。今後も住民の利便性の確保を図りながら地域の巡回訪問を実施していくこと。また、移動図書館車の活用においては事故等に注意していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。